

提 案 ⑦ 会の成果の公開し、実際の取り組みにつなげよう！

◆調査結果◆

行政アンケートから、8割の審議会・委員会が市民の提案を施策に反映させたと答えています。ただ、その成果の公開はほぼ全ての審議会・委員会が行なっていません。

8割弱の審議会・委員会が会合の評価をしていません。今回、終了している会合についての担当者評価をお願いしたところ、意見交換の活発さ、答申書作成など具体的な成果創出などの観点で評価点を決めていました。



自らの意見がどれだけ政策や事業に活かされたかが、市民が参加する最大の意味です。また、それによって生まれる参加の充足感は、市民参加を進めるためのとても大切な要素です。

近年、行政評価システムが導入され、行政運営の改善が行なわれています。評価するためには目的が明確でなければなりません。政策や事業の設計段階である審議会・委員会はとても重要で、その成果の共有を積極的に進め、実行へつなげることが求められます。

◆◇◆行政に求められること◆◇◆

会が終了したら、その成果を文書化し、市民へ公開することが有効だと考えます。市民の意見が具体的な反映された政策や事業には関心が高まり、課題解決に向けて、市民自らが行動する原動力となります。この段階から「事務事業評価」を導入し、実行につなげることを提案します。市民への説明責任を早い段階で行なうことになり、実行段階での協力を得ることにつながります。また、社会情勢やニーズに合致したものを取捨選択し、無駄な取り組みを止めることにもつながると思われまます。

審議会・委員会への市民参加は、政策や事業の設計段階に市民が関わるという意味でとても重要なことです。ただ、もっと重要なことは、事業の実行へ市民がどう関わっていくか、さらに言えば、その評価にまで市民が関わる機会を広げられるかどうかです。市民と協働で事業を実行し、実行状況に基づき行なう評価や振り返りの場への市民の参加の機会を拡充することを提案します。

◆◇◆市民に求められること◆◇◆

市民参加という言葉は、行政への参加のイメージで使われています。しかし、公共領域を担っているのは行政だけではありません。市民自らがまちの課題を解決しようと自主的に活動するボランティア活動、市民活動が多様に展開されており、私たちの暮らしを支えています。そんな民間の活動の意義や魅力を認知し、関心のある活動に参加してみましよう。